

バンコク・ドゥシット・メディカル・サービスズ(BDMSn) 病床占有率が高水準に推移。隔離なしの外国人受入れ 再開による「医療ツーリズム」の需要拡大の恩恵期待 タイ | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BDMS:TB | REUTERS BDMS.BK

- 2021/12期4Q(10-12月)は、総営業収益が前年同期比20.8%増、EBITDAが同52.9%増、純利益が同10.3%増と増収増益となった。
- 新型コロナ患者および非コロナ患者がともに増加。2022年1月の病床占有率は、前月比10ポイント上昇の80%と引き続き高水準で推移。
- 政府は2022年2月から隔離なし入国制度「テスト・アンド・ゴー」を再開。観光需要回復に伴う「医療ツーリズム」拡大の恩恵を期待。

What is the news?

2/23発表の2021/12期4Q(10-12月)は、総営業収益が前年同期比20.8%増の218.78億THB、EBITDAが同52.9%増の52.18億THB、純利益が同10.3%増の26.36億THB。新型コロナ患者に加え、新型コロナ以外の患者も増加したほか、タイ国内において外国人旅行者の受け入れが本格的に再開されたことによる外国人患者の増加が増収に寄与した。前四半期比でも、総営業収益が8.5%増、EBITDAが1.9%増、純利益が5.0%増と堅調に推移した。

4Qの事業別の概況は以下の通り。①病院事業の営業収益は、前年同期比22.0%増の209.14億THB、コロナ関連サービス収益を除けば同4%増となった。オミクロン株の感染拡大によりコロナ患者の病床使用率が高水準で推移したほか、非コロナ患者においても、待機手術の再開や外国人患者の増加等により病床使用率が改善した。タイでは2021年11月から隔離なし入国制度「テスト・アンド・ゴー」が開始されたことにより、主に中東およびCLMV(カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム)からの外国人患者が持ち直しを見せた。2022年1月の全体の病床占有率は、前月比10ポイント上昇の80%に達している。②商品販売事業の営業収益が同1.5%減の6.83億THB。③その他収益が同3.3%増の2.82億THBだった。

How do we view this?

同社は2022年の主な戦略として、①顧客価値に基づいたサービス料金設定による患者数拡大、②デジタル化を軸にしたマルチチャネル展開、③保険事業者等の第三者との関係強化、④ヘルスケアサービス・製品強化の4つを掲げる。また、旅行需要の回復による外国人患者の増加に加え、タイ国内における高齢化や賃金上昇による健康志向の高まりを背景に、同社を取り巻く事業環境は引き続き好調を維持すると見込まれる。

タイ政府は2021年12月より一時中断していた隔離なし入国制度「テスト・アンド・ゴー」を2022年2月から再開。コロナ感染拡大前に国内総生産(GDP)の約2割を占めた観光業の回復による経常収支の改善期待から、外国為替市場においてもタイバーツが買われ、2月中旬には1ドル約32バーツまで上昇、約7カ月ぶりの高値圏となった。タイへの注目が高まる中、同社の外国人をターゲットとした「医療ツーリズム」(医療を目的にした観光)向けサービスの拡大が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1THB=3.41円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
営業収益(百万THB)	82,722	68,074	74,451	80,611	87,454
当期利益(百万THB)	15,517	7,214	7,936	9,199	10,511
EPS(THB)	0.99	0.45	0.50	0.58	0.68
PER(倍)	25.76	56.67	51.00	43.97	37.50
BPS(THB)	5.27	5.53	5.28	5.60	5.83
PBR(倍)	4.84	4.61	4.83	4.55	4.37
配当(THB)	0.55	0.55	0.45	0.39	0.44
配当利回り(%)	2.16	2.16	1.76	1.53	1.73

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.39	(予想はBloomberg)
終値(THB)	25.50	2022/3/14

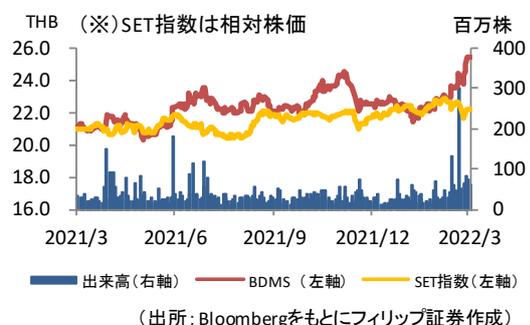
会社概要

1969年に診療所として設立。売上高、時価総額でタイ最大の民間病院運営会社。私立病院では売上高で世界トップ5に入る。タイ国内で47院、カンボジアに2院の病院を運営する。タイ国内初の民間心臓病院(バンコク心臓病院)や民間がん病院(ワタノス病院)、小児病院(サミティベート小児病院)を開設するなど、タイ医療のパイオニアである。病院ネットワークはバンコク病院、サミティベート病院、BNH病院、パヤータイ病院、パオロ病院、ロイヤル病院の6つの主要な病院グループから構成されている。

医療サービスの質に定評があり、全49病院のうち26の病院および臨床プログラムが、「ジョイント・コミッション・インターナショナル(JCI)」の認定を受けている。様々な分野で留学経験のある質の高い医師や看護師を揃え、国内外の患者に最新の医療技術に裏付けられた治療を提供している。

企業データ(2022/3/15)

ベータ値	0.93
時価総額(百万THB)	405,246
企業価値=EV(百万THB)	417,062
3か月平均売買代金(百万THB)	917.1



主要株主(2022/3)

1. Prasaritong-Osoth Prasert	12.82
2. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	7.74
3. VIRIYAH INSURANCE CO LTD	5.97

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

山口 亮太
 ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

笹木 和弘
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。